

証券コード4651

SANIX

2012年3月期
第1四半期 決算説明会

株式
会社 **サニックス**

2011年8月8日

(注) 数値については、単位未満を切り捨てて表示しております。

目 次

1. 2012年3月期 第1四半期の概況 P. 1

2. 2012年3月期 業績見通し P. 8

2012年3月期 第1四半期の概況



第1四半期 決算概況

当第1四半期については、前期比増収減益

売上高	：	7,505百万円	（前期比増減額	+230百万円）
営業利益	：	△317百万円	（前期比増減額	△929百万円）
経常利益	：	△325百万円	（前期比増減額	△919百万円）
当期純利益	：	△439百万円	（前期比増減額	△879百万円）

◆売上高◆

HS事業部門及びES事業部門においては、太陽光発電システム販売が堅調に推移したこと、環境資源開発事業部門においては、廃プラ加工処理、及び有機廃液処理が堅調に推移したことにより、前期比増収となった。

◆利益面◆

HS事業部門及びES事業部門において、原価率の高い太陽光発電システムの販売比率が上昇したほか、環境資源開発事業部門苫小牧発電所において、安定的連続運転に万全を期すため、定期修繕時に前年同期を超える修繕費を計上したため、売上原価が前年同期比25.3%増加し、前期比減益となった。

第1四半期 損益の実績と計画差異

	2011/3期		2012/3期					
	第1四半期		第1四半期					
	実績値	売上比	実績値	売上比	前期比	計画値	計画比	計画差異
売上高	7,274	100.0%	7,505	100.0%	103.2%	7,828	95.9%	△ 322
HS部門	4,403	60.5%	4,463	59.5%	101.3%	4,840	92.2%	△ 376
ES部門	649	8.9%	677	9.0%	104.3%	765	88.5%	△ 87
環境資源	2,221	30.6%	2,364	31.5%	106.5%	2,223	106.4%	141
売上原価	4,157	57.1%	5,209	69.4%	125.3%	5,292	98.4%	△ 82
売上総利益	3,117	42.9%	2,296	30.6%	73.7%	2,536	90.5%	△ 239
販管費	2,505	34.4%	2,613	34.8%	104.3%	2,736	95.5%	△ 122
営業利益	611	8.4%	△ 317	—	—	△ 200	—	△ 117
経常利益	593	8.2%	△ 325	—	—	△ 211	—	△ 114
当期純利益	440	6.1%	△ 439	—	—	△ 302	—	△ 137

■HS・ES事業部門の太陽光発電システム販売比率の上昇、及び苫小牧発電所における修繕費の増加による売上原価の増加についてはほぼ当初想定どおりであったものの、主力のHS事業部門において、シロアリ防除施工を含む既存商品販売が計画に及ばなかった。

その結果、グループ全体で売上・利益計画を若干下回ったものの、概ね計画水準での推移となっている。

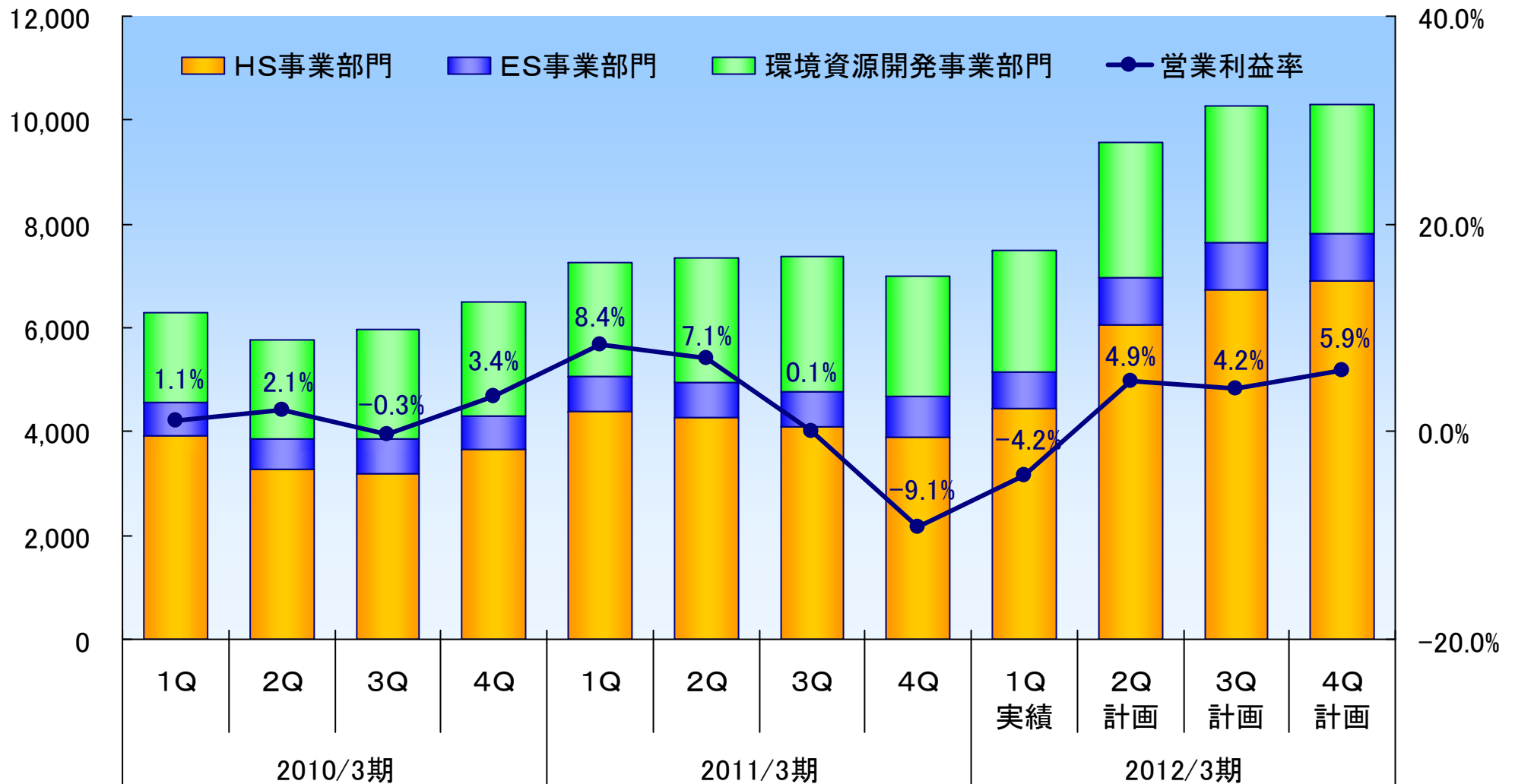
第1四半期 セグメント別損益の実績と計画差異

(単位:百万円)		2011/3期		2012/3期					
		第1四半期		第1四半期					
		実績値	前期比	実績値	売上比	前期比	計画値	計画比	計画差異
HS 部門	売上高	4,403	112.2%	4,463	100.0%	101.3%	4,840	92.2%	△ 376
	売上総利益	2,674	100.2%	2,185	49.0%	81.7%	2,410	90.7%	△ 224
	販管費	1,388	97.5%	1,417	31.8%	102.1%	1,522	93.1%	△ 104
	営業利益	1,285	103.2%	768	17.2%	59.8%	888	86.5%	△ 119
ES 部門	売上高	649	100.2%	677	100.0%	104.3%	765	88.5%	△ 87
	売上総利益	238	87.2%	214	31.7%	90.1%	260	82.7%	△ 45
	販管費	182	79.7%	226	33.5%	124.2%	225	100.6%	1
	営業利益	55	126.4%	△ 11	—	—	34	—	△ 46
環境 資源	売上高	2,221	129.6%	2,364	100.0%	106.5%	2,223	106.4%	141
	売上総利益	204	—	△ 104	—	—	△ 134	—	29
	販管費	383	95.9%	387	16.4%	100.9%	366	105.8%	21
	営業利益	△ 179	—	△ 491	—	—	△ 500	—	8
配賦 不能	営業利益	△ 551	—	△ 582	—	—	△ 622	—	40

第1四半期 セグメント別四半期推移

■セグメント別 売上高・営業利益率の推移

(単位:百万円)



第1四半期 HS事業部門

■第1四半期は概ね計画水準で進捗

太陽光発電システム販売については、受注は計画水準であったが、天候の影響によって一部の施工が7月以降に延期となり、施工実績が計画を下回った。

また、シロアリ防除施工を含む既存商品販売が計画に及ばず、売上高・営業利益ともに想定ラインを若干下回る結果となったが、概ね計画水準での進捗となっている。

(単位:百万円)	2011/3期				2012/3期				
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q				
	実績値	実績値	実績値	実績値	実績値	前期比	計画値	計画比	計画差異
売上高合計	4,403	4,277	4,093	3,881	4,463	101.3%	4,840	92.2%	△ 376
シロアリ防除施工	1,386	1,181	831	695	1,228	88.6%	1,350	91.0%	△ 121
床下・天井裏換気システム	976	910	510	170	573	58.7%	650	88.2%	△ 76
基礎補修・補強工事	678	527	400	153	393	58.0%	420	93.8%	△ 26
家屋補強システム	128	103	77	40	90	70.3%	80	112.9%	10
太陽光発電システム	471	744	1,581	2,464	1,400	296.8%	1,540	90.9%	△ 139
その他	761	810	692	356	777	102.0%	800	97.2%	△ 22
営業利益	1,285	974	414	△ 67	768	59.8%	888	86.5%	△ 119

第1四半期 ES事業部門

■太陽光発電システムの販売体制整備に時間を要し、計画未達

既存商品販売については概ね計画通りとなったものの、集合住宅向け太陽光発電システム販売については、専属営業職の配備・育成に時間を要したため、計画比減収となった。

なお、太陽光発電システム販売の計画比減収に伴い、11百万円の営業損失となった。

(単位:百万円)	2011/3期				2012/3期				
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q				
	実績値	実績値	実績値	実績値	実績値	前期比	計画値	計画比	計画差異
売上高合計	649	672	674	814	677	104.3%	765	88.5%	△ 87
防錆機器取付施工	119	207	189	165	118	99.9%	140	85.0%	△ 21
建物給排水補修施工	202	189	190	188	210	104.0%	183	115.0%	27
建物防水塗装補修施工	154	103	99	70	99	64.3%	93	106.8%	6
太陽光発電システム	—	1	51	244	93	—	176	52.8%	△ 82
その他	173	171	143	146	155	89.5%	173	89.9%	△ 17
営業利益	55	61	29	7	△ 11	—	34	—	△ 46

第1四半期 環境資源開発事業部門

■ 計画比増収となり、営業利益は計画通りに進捗

苫小牧発電所において、定期修繕時の設備更新に若干の時間を要したため、売電収入は計画比減収となったものの、廃プラ加工処理、有機廃液処理、及び埋立処分等収入は堅調に推移し、計画比増収となった。なお、苫小牧発電所において当第2四半期以降の安定操業に万全を期すため、定期修繕時設備更新に前年同期を超える修繕費を計上するも、営業利益は計画通りに進捗。

(単位:百万円)	2011/3期				2012/3期				
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q		計画値	計画比	計画差異
	実績値	実績値	実績値	実績値	実績値	前期比			
売上高合計	2,221	2,384	2,597	2,309	2,364	106.5%	2,223	106.4%	141
廃プラ加工処理	1,248	1,239	1,332	1,203	1,364	109.3%	1,276	106.9%	88
有機廃液処理	337	357	375	374	401	119.1%	385	104.3%	16
売電収入	299	391	452	284	200	66.9%	237	84.5%	△ 36
埋立処分等収入	233	225	251	228	234	100.7%	175	134.2%	59
その他の	103	169	185	218	164	158.5%	150	109.4%	14
営業利益	△ 179	△ 9	53	△ 80	△ 491	—	△ 500	—	8

SANIX



**2012年3月期
業績見通し**



2012年3月期 通期業績見通し

※業績見通しについて、
変更はありません。

通期連結業績見通し

売上高	：	38,000百万円	（前期：	28,979百万円）
営業利益	：	1,300百万円	（前期：	501百万円）
経常利益	：	1,250百万円	（前期：	430百万円）
当期純利益	：	830百万円	（前期：	49百万円）

HS事業部門

シロアリ防除の繁忙期を終え、当第2四半期以降は太陽光発電システム販売の推進に重点を置き、前期比大幅な増収を見込む。

ES事業部門

引き続き、賃貸物件管理会社及び分譲物件管理会社への法人営業を推進し、HS事業部門同様、太陽光発電システム販売を推進する。

環境資源開発事業部門

廃プラ加工処理については、「東日本大震災」の影響が徐々に解消され、引き続き堅調な推移を見込む。
苫小牧発電所においては、定期修繕後は順調に操業しており、安定的連続運転による稼働率の向上、及びオペレーションによる修繕費の削減により、収益改善を見込む。

2012年3月期 通期業績見通し

※業績見通しについて、
変更はありません。

(単位:百万円)		2012/3期							
		第2四半期累計				通期			
		計画値	売上比	前期比	前期比 増減額	計画値	売上比	前期比	前期比 増減額
売上高	17,410	100.0%	119.2%	2,800	38,000	100.0%	131.1%	9,020	
H S 部門	10,910	62.7%	125.7%	2,228	24,565	64.6%	147.5%	7,908	
E S 部門	1,672	9.6%	126.5%	349	3,455	9.1%	122.9%	643	
環境資源	4,828	27.7%	104.8%	222	9,980	26.3%	104.9%	468	
売上原価	11,629	66.8%	136.7%	3,119	25,944	68.3%	138.7%	7,240	
売上総利益	5,781	33.2%	94.8%	△ 318	12,056	31.7%	117.3%	1,780	
販管費	5,516	31.7%	111.1%	549	10,756	28.3%	110.0%	982	
営業利益	265	1.5%	23.4%	△ 867	1,300	3.4%	259.0%	798	
経常利益	240	1.4%	22.0%	△ 850	1,250	3.3%	290.7%	819	
当期純利益	30	0.2%	3.7%	△ 776	830	2.2%	—	780	

2012年3月期 セグメント別損益の見通し

※業績見通しについて、
変更はありません。

(単位:百万円)		2012/3期							
		第2四半期累計期間				通期			
		計画値	売上比	前期比	前期比 増減	計画値	売上比	前期比	前期比 増減
HS 部門	売上高	10,910	100.0%	125.7%	2,228	24,565	100.0%	147.5%	7,908
	売上総利益	4,717	43.2%	94.2%	△ 291	9,242	37.6%	116.0%	1,277
	販管費	3,122	28.6%	113.6%	373	6,057	24.7%	113.1%	700
	営業利益	1,595	14.6%	70.6%	△ 665	3,185	13.0%	122.1%	577
ES 部門	売上高	1,672	100.0%	126.5%	349	3,455	100.0%	122.9%	643
	売上総利益	580	34.7%	115.9%	79	1,208	35.0%	124.0%	233
	販管費	466	27.9%	121.6%	82	938	27.1%	114.3%	117
	営業利益	114	6.8%	97.2%	△ 3	270	7.8%	175.7%	116
環境 資源	売上高	4,828	100.0%	104.8%	222	9,980	100.0%	104.9%	468
	売上総利益	484	10.0%	82.0%	△ 105	1,606	16.1%	120.1%	268
	販管費	744	15.4%	95.5%	△ 34	1,506	15.1%	97.0%	△ 47
	営業利益	△ 260	—	—	△ 71	100	1.0%	—	315
配賦 不能	営業利益	△ 1,184	—	—	△ 127	△ 2,255	—	—	△ 211

2012年3月期 HS事業部門見通し

「太陽光発電システム」の販売計画

当社顧客向け直販

⇒営業人員の増員を含む販売体制整備及び更なる施工効率化を図り、下期以降大幅な増収を見込む。

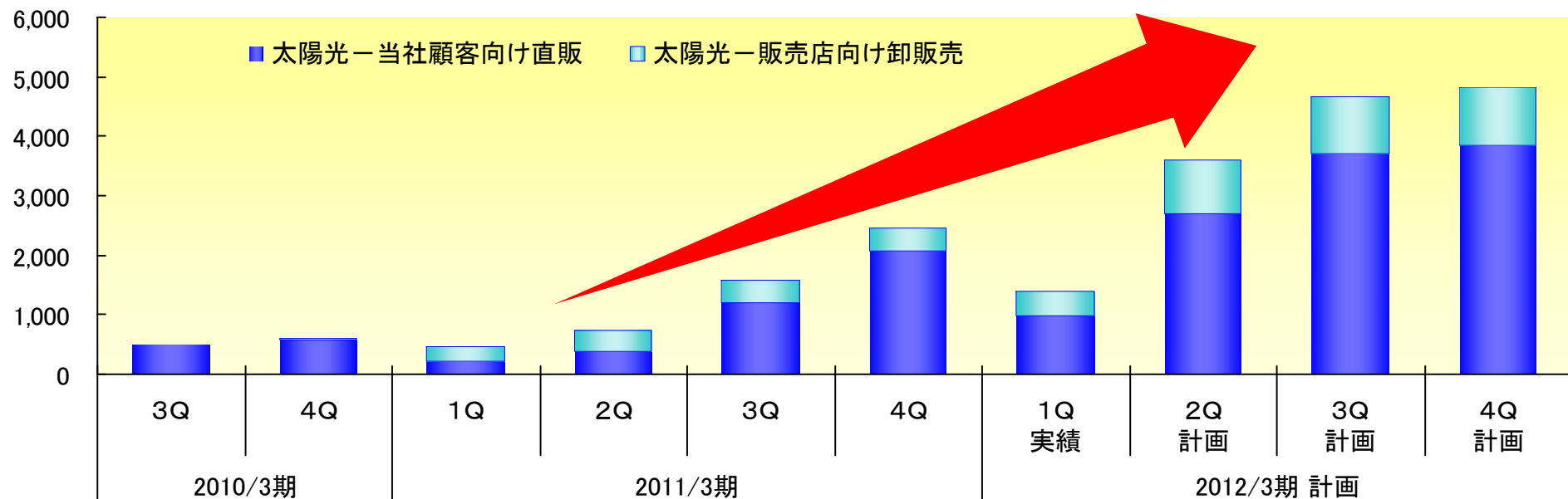
販売店向け卸販売

⇒販売店向けサポート体制を強化するとともに、産業用等の大型案件への販売体制を整備し、売上拡大を図る。



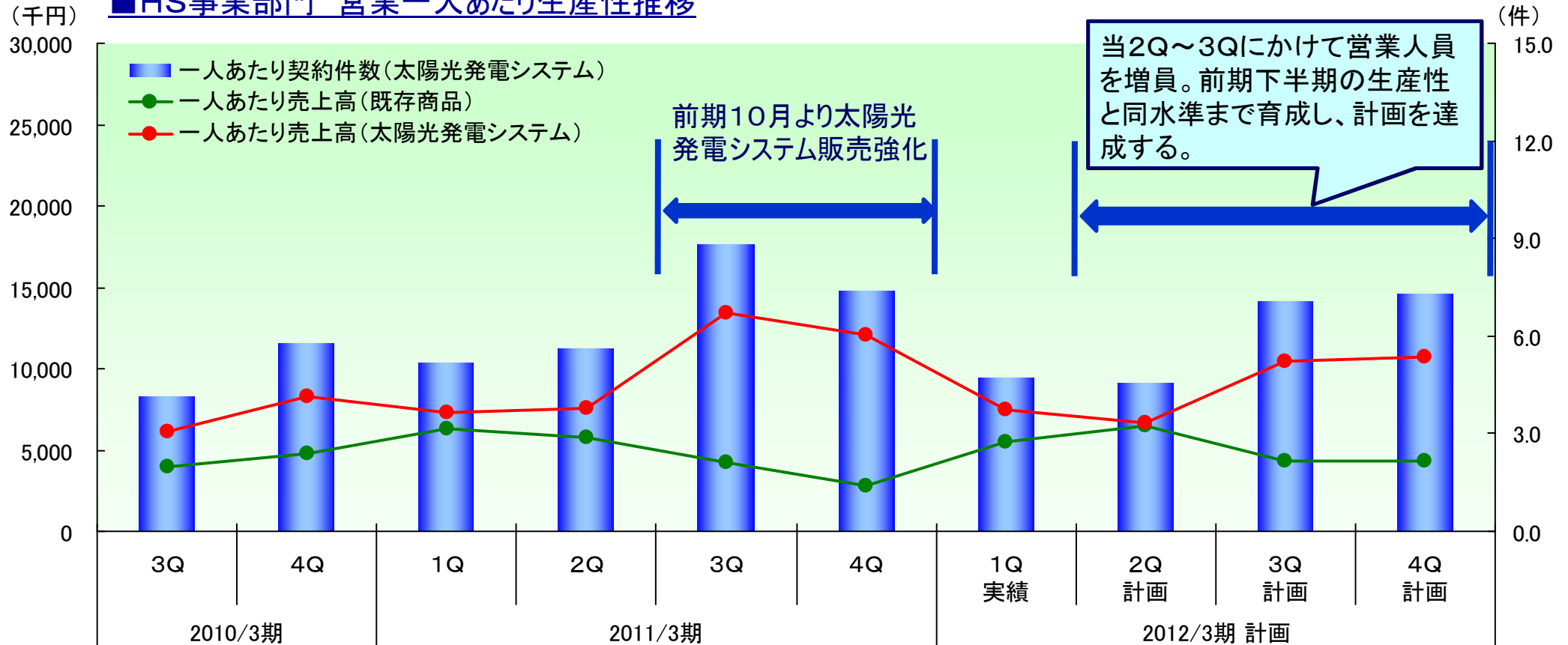
(単位:百万円)

■HS事業部門 太陽光発電システム売上高(施工・納品実績)推移



2012年3月期 HS事業部門見通し

■HS事業部門 営業一人あたり生産性推移



太陽光発電システムの市場価格は引き続き下落基調にあるものの、依然として当社の強みである価格優位性は確保されていることから、契約⇒工事⇒アフターメンテナンスを一貫して当社が行うという安心感を付加価値として、当該商品の販売を推進する。

【参考】市場価格: 544千円/kW (平成23年1月～平成23年3月実績、平均容量4.09kW、J-PEC開示資料より抜粋)
 当社価格: 400千円台前半/kW (当社直販販売価格、製品システム容量3.0kW～4.0kWの場合)

2012年3月期 環境資源開発事業部門見通し

■資源循環型発電事業の現況

- 廃プラ加工処理は搬入量が堅調に推移(当1Qでは前年同期比10.8%増)。
- 苫小牧発電所は定期修繕を終え、大きなトラブルなく安定的連続運転を継続中。

下記方針により、収益を更に改善！



廃プラ燃料のブランド化

●苫小牧発電所稼働率向上による品質の実証

前期より推進した燃料品質の向上により、苫小牧発電所の安定的連続運転を継続し、当社廃プラ燃料の品質を実証する。

●販売先別(用途別)に廃プラ燃料の品質を分けて製造する仕組みを構築

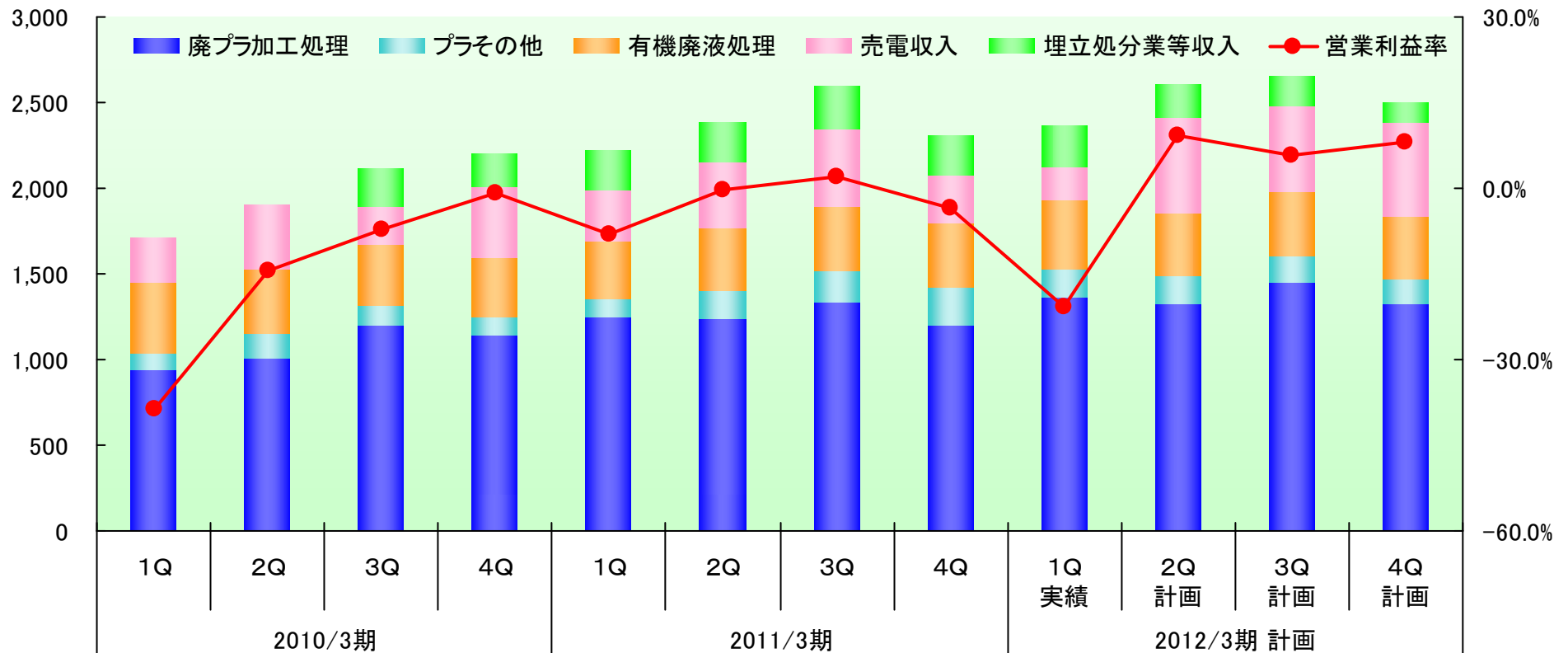
廃プラ加工処理において、搬入量が堅調に推移していることから、苫小牧発電所向け廃プラ燃料以外に、販売先の要望に応じた燃料製造の仕組みを構築し、廃プラ燃料のブランド化を図る。

廃プラ燃料をブランド化することにより、燃料の外販を拡大し、更なる収益改善を図る。

2012年3月期 環境資源開発事業部門見通し

■売上高・営業利益率の推移

(単位: 百万円)

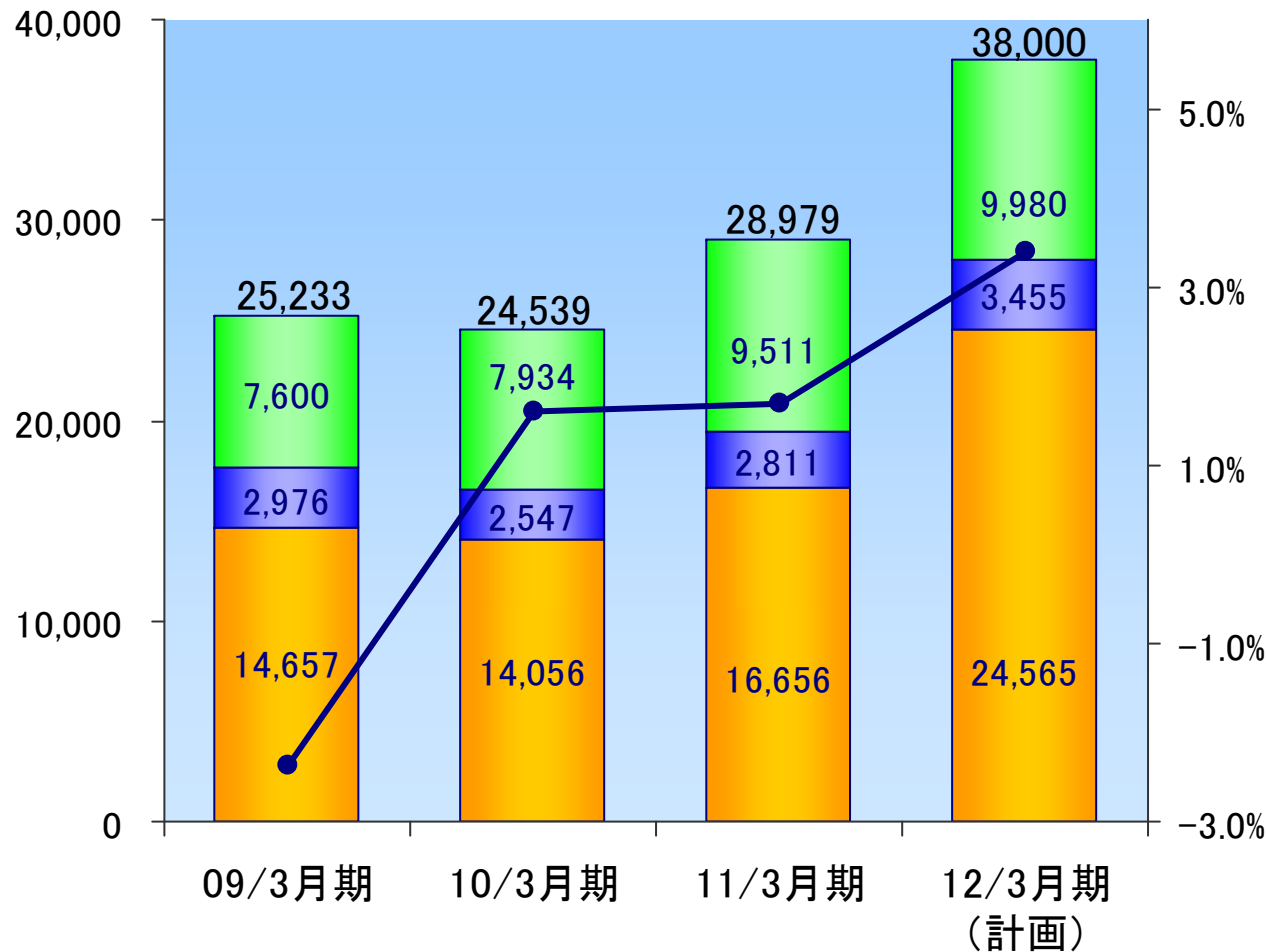


苫小牧発電所において、定期修繕以降は安定的連続運転を継続しており、廃プラ加工処理収入においても堅調に推移していることから、資源循環型発電事業の収益性は改善され、通期黒字化を見込む。

2012年3月期 全社見通し

■セグメント別売上高・営業利益率の推移

(単位:百万円)



2012年3月期見通し

売上高：38,000百万円

営業利益：1,300百万円

営業利益率：3.4%

■ HS部門
 ■ ES部門
 ■ 環境資源開発部門
 ● 営業利益率

免責事項

本資料には、将来の業績予測に関する記述が含まれています。こうした将来の業績予測に関する記述は、将来業績を保証することを意図するものではなく、一定の前提条件と経営陣の現時点で入手可能な情報に基づく判断に基づくものです。従いまして、将来時点における実際の収益及び業績は、こうした将来の業績予測に関する記述と大きく異なる可能性があります。

以下の要因により、将来時点における当社の業績は、本資料内の将来の業績予測に関する記述と大きく異なる可能性があります。

日本の景気動向、日本のサービス業の業績動向、他のサービス業者との競争環境、技術革新、規制環境、法律環境及びその他の弊社の予測を超える様々な要因

本資料は当社が発行する証券への投資を勧誘することを企図した資料ではありません。本資料に含まれる情報に基づいて発生した損失・債務に関して、当社は一切の責任を負わない旨をご了承下さい。